



2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月11日

上場会社名 メディカル・データ・ビジョン株式会社
 コード番号 3902 URL <https://www.mdv.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役グループ管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

上場取引所 東

(氏名) 岩崎 博之
 (氏名) 柳澤 卓二

TEL 03-5283-6911

配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	2,046	14.6	475	75.9	476	76.3	319	84.0
2019年12月期第2四半期	1,786	21.3	270		270		173	

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 319百万円 (97.4%) 2019年12月期第2四半期 161百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	8.06	
2019年12月期第2四半期	4.33	

(注) 2019年12月期第2四半期連結累計期間及び2020年12月期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	4,667	3,753	79.7
2019年12月期	4,948	4,023	80.6

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 3,719百万円 2019年12月期 3,989百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		0.00	0.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	19.2	900	11.2	900	11.9	600	8.2	14.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	40,027,526 株	2019年12月期	40,027,526 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	601,529 株	2019年12月期	1,529 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	39,590,832 株	2019年12月期2Q	40,026,013 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの主たる事業領域である医療関連業界におきましては、質が高く、効率的な医療・介護の提供体制の構築が求められている中、2020年度の診療報酬改定により全体では、0.55%の引上げとなりました。また、医療関連業界をはじめ、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大による影響は、予断を許さない状況にあります。当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績に重大な影響は観測されておりません。

このような事業環境のもと、医療機関向けのパッケージ販売を主としたデータネットワークサービスにおいては、DPC分析ベンチマークシステム「EVE」の導入数が782病院と、大規模なDPC実施病院のベンチマークデータを保有いたしております。また、病院向け経営支援システム「Medical Code」の導入数は270病院となりました。

データ活用サービスにおいては、EBM(Evidence based medicine:根拠に基づいた医療)分野を中心に、主として製薬会社向けに、当社が保有する大規模診療データベースを用いた調査・分析サービス等の売上が順調で、1,283,661千円(前年同四半期比21.9%増)となりました。医療関連業界においてもビッグデータの活用が注目されている中、大規模診療データベースは、2020年6月末現在で、実患者数が3,207万人となりました。

また、診療情報共有及び医療費専用後払いサービス「CADA-BOX」の導入及び包括データ利用契約締結により、リアルタイム診療データベースは、2020年6月末現在で、80万人規模、そして、2020年4月より提供を開始した健康保険組合のデータベースは、2020年6月末現在で、568万人となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,046,556千円(前年同四半期比14.6%増)となり、売上総利益は1,735,726千円(前年同四半期比19.1%増)となりました。

販売費及び一般管理費については、主に人件費や研究開発費の増加に伴い、1,260,175千円(前年同四半期比6.1%増)となりました。その結果、営業利益は475,550千円(前年同四半期比75.9%増)となりました。

営業外収益として主に補助金収入、営業外費用として主に自己株式の取得に伴う支払手数料を計上したことにより、経常利益は476,941千円(前年同四半期比76.3%増)となりました。

また、特別損失として固定資産除却損を計上したことにより、税金等調整前四半期純利益は476,639千円(前年同四半期比76.4%増)となりました。

法人税、住民税及び事業税を124,661千円計上し、法人税等調整額を32,800千円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は319,178千円(前年同四半期比84.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産残高は、前連結会計年度末と比べて281,176千円減少し、4,667,365千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べて210,278千円減少し、3,661,729千円となりました。これは主に、売掛金の回収や製薬会社向け年間サービスの入金があった一方で、自己株式の取得等に伴う支出をした結果、現金及び預金が190,965千円、債権回収が順調に進んだことにより売掛金が120,232千円、減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて70,898千円減少し、1,005,635千円となりました。これは主に、無形固定資産が36,746千円、有形固定資産が31,466千円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債残高は、前連結会計年度末と比べて10,710千円減少し、913,870千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べて10,859千円減少し、841,796千円となりました。これは主に、製薬会社向け年間サービスの入金に伴い前受収益が200,382千円増加した一方、賞与の支給に伴い賞与引当金が99,557千円、未払金等の減少に伴い、その他の流動負債が105,625千円減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて149千円増加し、72,074千円となりました。これは、資産除去債務が149千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産残高は、前連結会計年度末と比べて270,466千円減少し、3,753,494千円となりました。これは、利益剰余金が319,178千円増加したものの、自己株式を589,644千円取得したことによるものです。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、2,753,985千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、415,659千円(前年同四半期は879,705千円の収入)となりました。これは主に、プラス要因として、税金等調整前四半期純利益が476,639千円、前受収益の増加が200,382千円、マイナス要因として、賞与引当金の減少が99,557千円、また、前払費用の増加に伴い、その他の営業活動によるキャッシュ・フローが172,280千円減少したことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、16,980千円(前年同四半期は25,359千円の収入)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が7,782千円、敷金の差入による支出が7,511千円であったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、589,644千円(前年同四半期は199,345千円の収入)となりました。これは、自己株式の取得による支出が589,644千円であったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年2月10日の「2019年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大による当社グループの事業への重大な影響は、現時点において観測されておりません。今後の状況の変化により、通期業績予想に修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,944,950	2,753,985
売掛金	757,420	637,188
原材料	12,804	16,899
その他	179,300	276,596
貸倒引当金	△22,467	△22,940
流動資産合計	3,872,007	3,661,729
固定資産		
有形固定資産	233,833	202,367
無形固定資産		
ソフトウェア	14,018	12,778
のれん	342,561	307,055
無形固定資産合計	356,580	319,834
投資その他の資産		
その他	491,286	488,600
貸倒引当金	△5,166	△5,166
投資その他の資産合計	486,120	483,434
固定資産合計	1,076,534	1,005,635
資産合計	4,948,542	4,667,365
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,709	23,158
未払法人税等	138,960	143,452
前受収益	291,337	491,720
賞与引当金	100,167	610
その他	288,480	182,855
流動負債合計	852,656	841,796
固定負債		
資産除去債務	71,925	72,074
固定負債合計	71,925	72,074
負債合計	924,581	913,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	992,661	992,661
資本剰余金	1,756,245	1,756,245
利益剰余金	1,241,490	1,560,669
自己株式	△726	△590,371
株主資本合計	3,989,671	3,719,205
非支配株主持分	34,289	34,289
純資産合計	4,023,960	3,753,494
負債純資産合計	4,948,542	4,667,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,786,339	2,046,556
売上原価	328,615	310,830
売上総利益	1,457,723	1,735,726
販売費及び一般管理費	1,187,333	1,260,175
営業利益	270,389	475,550
営業外収益		
受取利息	105	11
補助金収入	—	2,000
その他	46	70
営業外収益合計	152	2,081
営業外費用		
支払利息	43	—
支払手数料	—	651
その他	19	39
営業外費用合計	63	690
経常利益	270,479	476,941
特別損失		
固定資産除却損	318	301
特別損失合計	318	301
税金等調整前四半期純利益	270,161	476,639
法人税、住民税及び事業税	122,516	124,661
法人税等調整額	△14,027	32,800
法人税等合計	108,488	157,461
四半期純利益	161,672	319,178
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,827	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	173,499	319,178

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	161,672	319,178
四半期包括利益	161,672	319,178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173,499	319,178
非支配株主に係る四半期包括利益	△11,827	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	270,161	476,639
減価償却費	59,142	45,432
のれん償却額	27,110	35,506
貸倒引当金の増減額(△は減少)	363	472
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△99,557
事業損失引当金の増減額(△は減少)	△12,091	—
受取利息	△105	△11
固定資産除却損	318	301
株式報酬費用	3,834	5,539
売上債権の増減額(△は増加)	423,532	120,232
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,446	△9,448
仕入債務の増減額(△は減少)	1,431	△10,551
未払金の増減額(△は減少)	△20,175	△33,345
未払費用の増減額(△は減少)	△3,373	△30,335
前受収益の増減額(△は減少)	298,277	200,382
その他	△18,415	△172,280
小計	1,026,565	528,976
利息及び配当金の受取額	105	11
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△146,965	△113,328
営業活動によるキャッシュ・フロー	879,705	415,659
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100,042	—
有形固定資産の取得による支出	△71,986	△7,782
無形固定資産の取得による支出	△2,610	△1,977
敷金の差入による支出	△71	△7,511
敷金の回収による収入	—	72
貸付金の回収による収入	500	—
その他	△515	219
投資活動によるキャッシュ・フロー	25,359	△16,980
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△55	△589,644
非支配株主からの払込みによる収入	199,992	—
リース債務の返済による支出	△590	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	199,345	△589,644
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,104,411	△190,965
現金及び現金同等物の期首残高	1,574,630	2,944,950
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,679,041	2,753,985

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年2月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式600,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が589,644千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が590,371千円となっております。

(重要な後発事象)

(株式取得による会社等の買収)

当社は、株式会社システム ビー・アルファ（以下「Be・α」）の全株式の取得につき、以下の事項を前提とした決議を2020年7月13日開催の取締役会にて行い、株式譲渡契約を締結いたしました。当該株式譲渡契約に基づき、当社は2020年10月1日付でBe・αの株式の全部を取得し、連結子会社化することといたします。

(1) 株式取得の目的

当社グループは創業当時から、「医療・健康情報の一元化と利活用を促進し、生活者メリットの創出に貢献する」を目指して事業を推進しています。病院、クリニック、介護施設等をはじめとする、医療・健康情報の一元化を行うことで、患者が自身の診療履歴や健康状態を管理・閲覧できる環境の創出、また、データ分析による更なる医療の質向上に寄与できるものと考えております。

この度子会社化するBe・αは、健診システムの開発・販売、電子カルテ等の代理店販売事業を主軸とし、当該領域に関する知見及び九州地方を中心に中小規模病院やクリニックをはじめとする医療機関とのネットワークを保有しています。Be・αの経営資源を活用することで、当該領域の知見を吸収できるほか、健康診断など未病領域の情報をスピーディに集積できると考えております。

(2) 買収する会社の概要

名称	株式会社システム ビー・アルファ
事業内容	健診システムなどソフトウェアの開発・販売 電子カルテ等の代理店販売
資本金	35,000千円

(3) 株式取得の時期

2020年10月1日（予定）

(4) 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

取得する株式の数	普通株式700株
取得価額	相手先との守秘義務があり、非開示としております。
取得後の持分比率	100%

(5) 支払資金の調達方法

自己資金